ROCK PAINT

ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆
居室内で無制限に使用できます

ワンランク上の性能を実現!!

水性1液架橋型低汚染ラジカル制御フッ素樹脂塗料

サンフロン® アクア

ロックペイント株式会社

当社が培ったラジカルコントロール技術により、従来にないワンランク上の高性能な塗料を実現!!

新築時の美しかった住まいや建築物は、紫外線(UV)、風雨、寒暖、工場からの煤煙等の劣化因子により、美観が徐々に低下してゆきます。
塗り替え改修において、高耐候性、高耐久性が求められてきており、強靭で強い結合エネルギー(C-F)を持つフッ素樹脂を主成分とした **サンフロン®アクア** はラジカルコントロール技術を取り入れた水性フッ素樹脂塗料で、ワンランク上の高機能を発揮します。
サンフロン®アクア は、様々な劣化因子から快適な住環境をまもります。

● 強靭なフッ素樹脂

～フッ素化合物と一般化合物の結合エネルギー比較～

樹 脂	主鎖結合	エネルギー (KJ/mol)	側鎖結合	エネルギー (KJ/mol)
フッ素化合物	CF_3-CH_3	424	CF_3CH_2-H	447
一般化合物	CH_3-CH_3	379	CH_3CH_2-H	411

※自然光の最大UV波長エネルギー: 411KJ/mol

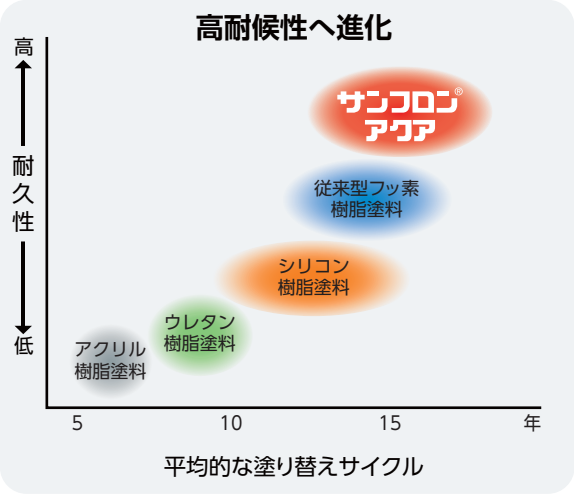
フッ素を含むと、自然光のエネルギーよりも結合エネルギーが強いため切断されにくく、フッ素樹脂塗膜は、劣化因子に対し白亜化や膜厚減少がしにくくなります。

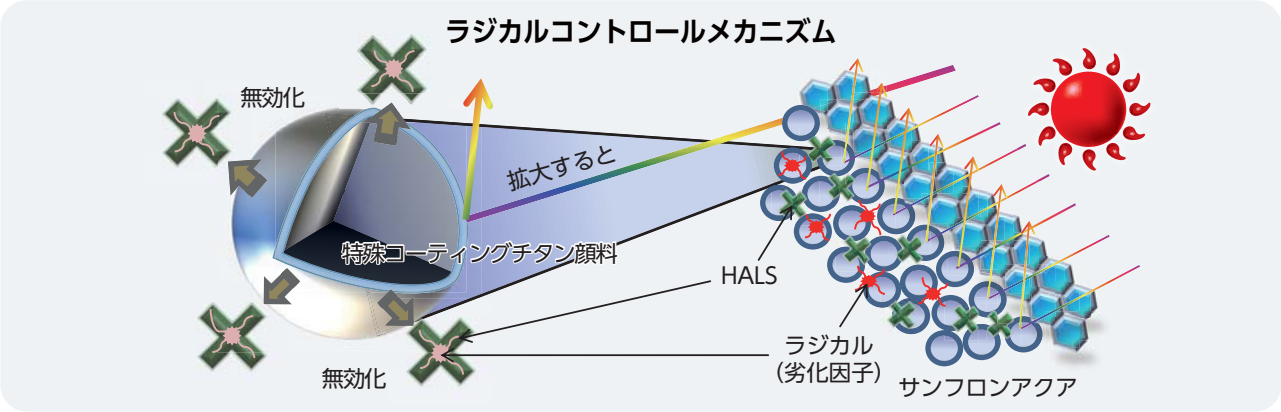
特 長

1 高耐候性

信頼性のある水性フッ素樹脂と特殊コーティングチタン(ホワイト)顔料及びラジカル吸着安定剤(HALS)によるラジカルコントロール技術で、従来品に比べ耐候性が飛躍的に向上しました。
このことは面倒な塗り替え改修のサイクルを延ばすことにつながり、ひいてはメンテナンスコストを低減することが可能です。

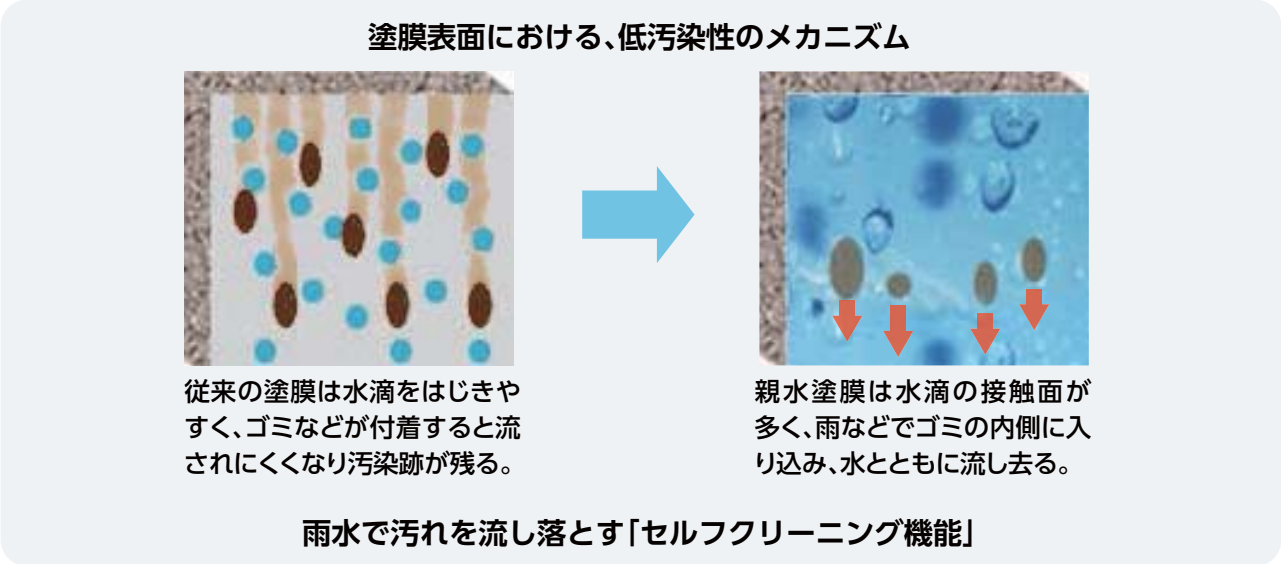
[特殊コーティングチタン顔料とHALS]
紫外線で遮断する特殊コーティングを施したチタン(ホワイト)顔料で、ラジカル(劣化因子)の発生を抑制し、また抑制しきれないラジカルもHALS(ラジカル吸着安定剤)によって無効化するため、塗膜の耐久性を示すチョーキングの発生を抑え紫外線劣化を防ぎます。





2 低汚染性

塗膜表面は高い架橋密度を有した緻密な塗膜の形成と親水性を呈した塗膜表面により、降雨によって雨水となじむセルフクリーニング作用を長期間持続し、付着した汚れを洗い流し低汚染性を発揮します。



3 水性1液の環境対応型

水性1液タイプのため使いやすく、溶剤臭や引火の心配がないため、屋内外で安全に使用できます。
また、鉛やクロムなど有害な重金属を原料として配合していないため、地球環境にやさしい塗料です。

4 作業性にすぐれ、工程短縮が可能

塗装作業性が良く、中塗りは2時間(23℃)で塗り重ねが可能なため、1日2工程が可能です。

5 幅広い用途適性

各種外壁の改修が可能なうえ、下塗材との組み合わせにより、あらゆる用途に対しオールマイティにご使用いただけます。

6 つや調整が可能

上塗材はつや有りから3分つや仕上げまでの調整が可能なため、様々な部位・用途に対してつやの選択が可能です。

7 防藻・防かび性

強力な防藻・防かび剤が配合されていますので、藻やかびの発生を抑制し、長期にわたり清潔な住環境を保ちます。

■ 用途

●コンクリート、モルタル、ALCパネル、スレート板、鉄部などの建築物内外部の新設及び塗り替え
●可とう形改修塗材の中塗り・上塗り、各種旧塗膜をはじめ、サイディングボード、硬質塩ビ（雨樋など）の塗り替え

※金属面の下塗りには、適性のあるさび止め、プライマーが必要です。

■ 製品構成

品　番	品　名	容　量	標準塗付量 (Kg/㎡・回)	塗布面積（15kg）
081-9055	サンフロンアクア 中塗り	15kg、3kg	0.12～0.18	83～125㎡
081-9051	サンフロンアクア 各色（上塗り）	15kg、3kg	0.15～0.18	83～100㎡

※中塗りは淡彩色～中彩色まで調色可能です。
上塗りの艶は、つやあり～3分つやまでを設定可能です。

■ 乾燥時間

温　度		10℃	23℃	30℃
081-9055	指触乾燥	50分	20分	15分
	塗り重ね可能時間	3時間以上	2時間以上	1時間以上
081-9051	指触乾燥	60分	30分	20分
	塗り重ね可能時間	5時間以上７日以内*	4時間以上７日以内*	2時間以上３日以内*

※乾燥時間は標準的な塗装の場合で、被塗物の形状、素地状態、気象条件、塗装方法などにより多少異なります。
＊タッチアップは上記の時間の範囲で行ってください。

■ 関連下塗り塗料

品　名	容　量
ロックカチオンシーラーマルチⅢ（透明）	15kg
ロックカチオンシーラーマルチ　ホワイト	15kg
ロックSBフィラー	15kg
ビニロックエラスティックフィラーⅢ	16kg
ハイパーシーラーアクア（透明）	15kgセット

品　名	容　量
ユメロックシーラー（透明）	15kgセット
ユメロックシーラー　ホワイト	15kgセット
ハイパーシーラーエポ（透明）	15kgセット
ハイプライマーアクア　グレー	15kgセット
ハイプライマーアクア　ホワイト	15kgセット

標準塗装仕様

塗り替え：外装材の塗り替え（コンクリート・モルタルなどの下地）

工　程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (Kg/㎡・回)	塗り重ね可能時間（23℃）
下地調整	旧塗膜のはがれ部分、ふくれ部分などは皮スキ、ワイヤーブラシなどのケレン具を用いて完全に除去する。また、エフロレッセンス、チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下 塗 り	032-2106 ビニロックエラスティックフィラーⅢ	水	ローラー　：　5～10 エアレス　：　5～10	1	0.3～0.5	4時間以上
			砂骨ローラー　：　1～5		0.8～1.5	
中 塗 り	081-9055 サンフロンアクア 中塗り　指定色	水	ハケ、ローラー：　5～10 エアレス　：　10～20	1	0.12～0.18	2時間以上
上 塗 り	081-9051 サンフロンアクア 指定色	水	ハケ、ローラー：　2～10 エアレス　：　5～20	1	0.15～0.18	—

注）●下塗りの塗装用具は上記の他にリシンガン、タイルガンも使用できます。
●ビニロックエラスティックフィラーⅢを吹き付けする場合は、施工時の温度、希釈率、ガンの口径、塗付量などによって異なりますので、あらかじめ試し塗りを行い、条件を設定してから塗装してください。

塗り替え：窯業系サイディングボードの塗り替え

工　程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (Kg/㎡・回)	塗り重ね可能時間（23℃）
下地調整	旧塗膜のはがれ部分、ふくれ部分などは皮スキ、ワイヤーブラシなどのケレン具を用いて完全に除去する。また、エフロレッセンス、チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下 塗 り	032-2001 ロックSBフィラー	水	ハケ　：　1～5 ローラー　：　1～5	1	0.2～0.4	3時間以上
中 塗 り	081-9055 サンフロンアクア 中塗り　指定色	水	ハケ、ローラー：　5～10 エアレス　：　10～20	1	0.12～0.18	2時間以上
上 塗 り	081-9051 サンフロンアクア 指定色	水	ハケ、ローラー：　2～10 エアレス　：　5～20	1	0.15～0.18	—

注）●下塗りは他に033-1179ロックカチオンシーラーマルチⅢ、033-1160ロックカチオンシーラーマルチ ホワイトなどがあります。
●著しく劣化が進行している場合は、下塗り塗料としてユメロックシーラー(2液型)を使用してください。
●光触媒処理や無機系コーティング材など付着しにくい面には、ハイパーシーラーエポ、ハイパーシーラーアクアを下塗りに使用してください。

※仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などにより多少異なる場合があります。

標準塗装仕様

塗り替え：一般鉄部（平滑仕上げ）

工　　程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (Kg/㎡・回)	塗り重ね可能 時間（23℃）
下地調整	旧塗膜のはがれかかった部分、ふくれ部分はワイヤーブラシ等のケレン具で、浮き塗膜、さびなどは、電動工具、手工具で削りかすとともに完全に除去する。チョーキングした面、汚れ等はサンドペーパー等で除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下 塗 り	061ライン　ハイプライマーアクア 配合比(重量) 主剤：硬化剤=2：1	水	ハケ、ローラー：　0～5 エアレス　　：　5～10	1	0.14～0.16	4時間以上 7日以内
中 塗 り	081-9055 サンフロンアクア 中塗り 指定色	水	ハケ、ローラー：　5～10 エアレス　　：10～20	1	0.12～0.18	2時間以上
上 塗 り	081-9051 サンフロンアクア 指定色	水	ハケ、ローラー：　2～10 エアレス　　：　5～20	1	0.15～0.18	—

注）●ハイプライマーアクアには、グレーとホワイトがあります。
●下塗り塗装において、夏場の高温時は硬化反応が著しく速まるため、あまり日数を置かず速やかに次の工程を行ってください。もし長期間経過した場合はサンドペーパーまたはパワーブラシで表面を研磨した後、脱脂等清浄な面とした上で上塗り塗装してください。

塗り替え：硬質塩ビ（雨どいなど、平滑仕上げ）

工　　程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (Kg/㎡・回)	塗り重ね可能 時間（23℃）
下地調整	旧塗膜のはがれ部分、ふくれ部分などは皮スキ、ワイヤーブラシなどのケレン具を用いて完全に除去する。チョーキング部分、汚れなどは高圧洗浄などで除去し、乾燥した清浄な面とする。塗装する面にサンドペーパーP240～P400で研磨による表面荒らしを行う。					
下 塗 り	081-9055 サンフロンアクア 中塗り 指定色	水	ハケ、ローラー：　5～10 エアレス　　：10～20	1	0.12～0.18	2時間以上
上 塗 り	081-9051 サンフロンアクア 指定色	水	ハケ、ローラー：　2～10 エアレス　　：　5～20	1	0.15～0.18	—

新設：コンクリート、モルタルなど（平滑仕上げ）

工　　程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (Kg/㎡・回)	塗り重ね可能 時間（23℃）
素地調整	エフロレッセンス、レイタンス、ゴミ、汚れなど付着物を完全に除去し、乾いた清浄な面とする。 （含水率10%以下、pH9.5以下）					
下 塗 り	033-1179 ロックカチオンシーラーマルチⅢ	水	ハケ、ローラー：　0 エアレス　　：　0 （通常不要）	1	0.07～0.13	3時間以上
中 塗 り	081-9055 サンフロンアクア 中塗り 指定色	水	ハケ、ローラー：　5～10 エアレス　　：10～20	1	0.12～0.18	2時間以上
上 塗 り	081-9051 サンフロンアクア 指定色	水	ハケ、ローラー：　2～10 エアレス　　：　5～20	1	0.15～0.18	—

注）●ロックカチオンシーラーマルチⅢはカチオン型であり、他の水性塗料と混合するとゲル化しますので、絶対に避けてください。またハケ、ローラーなどの塗装用具の共用も避けてください。
●素地の吸い込みが著しい場合、強アルカリ性が予想される場合は弱溶剤型シーラー（ユメロックシーラー、ハイパーシーラーエポ）などを使用してください。
●吸い込みの著しい部材については、標準塗付量より多くなる場合があります。シーラー塗装は「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装してください。

新設：一般鉄部（平滑仕上げ）

工　　程	使用塗料	希釈剤	塗装方法、希釈率(%)	塗装回数	標準塗付量 (Kg/㎡・回)	塗り重ね可能 時間（23℃）
素地調整	電動工具、手工具を併用し、黒皮や赤サビを念入りに除去する。日本道路協会素地調整程度「2種ケレン」、又はSIS St3。 じんあい、水分、油脂分は完全に取り除き、塗装しない箇所をマスキングしてください。					
下 塗 り	061ライン　ハイプライマーアクア 配合比(重量) 主剤：硬化剤=2：1	水	ハケ、ローラー：　0～5 エアレス　　：　5～10	1	0.14～0.16	4時間以上 7日以内
中 塗 り	081-9055 サンフロンアクア 中塗り 指定色	水	ハケ、ローラー：　5～10 エアレス　　：10～20	1	0.12～0.18	2時間以上
上 塗 り	081-9051 サンフロンアクア 指定色	水	ハケ、ローラー：　2～10 エアレス　　：　5～20	1	0.15～0.18	—

注）ハイプライマーアクアには、グレーとホワイトがあります。

※仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって多少異なる場合があります。

施工上の注意事項

- 塗る面のゴミ、かび、こけ、油分、枯葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- 気温が低いときや湿度が高い場合には、完全な塗膜ができにくく十分な性能を発揮できませんので、気温5℃以下、湿度85%以上での塗装は避けてください。
- 絶えず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- 塗料全体をよくかき混ぜ、均一にしてから使用してください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。特に吹付け塗装の場合は注意してください。
- 補修部分が目立つことがありますので、補修塗りの場合は同一ロットの塗料を使用し、同一の塗装方法、希釈割合で行ってください。
- 塗装方法により多少色相が異なることがありますので、入り隅のハケ・ローラー境目はできるだけ奥までローラー塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により色相が異なって見えることがあります。
- 作業能率の低下および塗りムラの原因になるため、スプレーノズルの先端は時々洗浄してください。
- ハケ・ローラーなどの塗装用具は水性用を使用してください。
- ハケ塗りとローラー塗りで仕上げが混在する場合、塗り肌が異なり、色相に差が出やすいので、ハケ塗り部分の希釈をやや少なめに塗装してください。
- つやの調整品は、被塗物の形状、状態、塗装膜厚や塗色などにより、実際のつやと少し違って見える場合があります。あらかじめ試し塗りを実施し確認してください。また塗り継ぎや補修の際につやむらが出やすいため、面を切って通しで塗装してください。
- 上塗り塗装の際は必ずサンフロンアクア中塗りを施工後、塗装してください。
- さざ波模様など凹凸のある下地の場合、上塗りの隠ぺい性が十分発揮できず、塗装回数が増えたりすることがありますので注意してください。
- 降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測されるときは外部の塗装を避けてください。
- シーリング材の上に塗装する場合、シーリング材の種類、劣化度により付着不良、収縮われなどを起こしたり、表面が汚れたりすることがあります。状況によっては、シーリング材用プライマー「ロックノンタックプライマーS」を塗装してください。塗膜の汚染・剥離・はがれ・割れの低減が図れますが、シーリング材の種類によっては汚れ、付着不良が発生する場合がありますので試し塗りすることをお奨めします。なお、ノンブリードタイプのシーリング材に「ロックノンタックプライマーS」は塗装しないでください。
- エマルションパテの外部での使用は避けてください。
- 外部の塗装について、塗料臭気が室内に入らないように換気装置などを停止し、開口部などの養生を行ってください。
- 塗装面の取り合い等で可塑剤が多く含まれる建材（塩ビ鋼板、ラミネート鋼板、プラスチック、ゴムパッキン、塩ビクロスなど）への直接の塗装は塗膜が軟化することがあり避けてください。また、これらの素材に塗膜が接触・付着しないように注意してください。
- 蓄熱されやすい建材（軽量モルタル、ALC、窯業系サイディング、その他の断熱性が付与された建材など）を使用した高断熱型住居の外装を塗装する場合、状況により蓄熱、水分、素地、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、素地の変形、塗膜のふくれ、はがれなどが発生する場合があります。詳しくは最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 笠木、天端など長時間水の滞留する箇所では塗膜の白化、ふくれなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 比較的緻密な素材である押出成形板やGRC板へ塗装する場合は、ユメロックシーラー、ハイパーシーラーエポ、ハイパーシーラーアクアを下塗りとして使用してください。
- サイディングボード表面に反り、うねりが発生している場合は、ビスの増す打ちなど状況に応じた補修を行ってください。また補修が困難な場合はボードの張り替えを行ってください。
- フッ素コート処理をはじめ無機系や光触媒処理のサイディングボードには、ハイパーシーラーエポ、ハイパーシーラーアクアを下塗りに使用してください。
- 新しいコンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、含水率10%以下、pH9.5以下になるまで十分に乾燥させてください。
- 屋外セメント系素地に段差・巣穴などがある場合は、セメントフィラーを用いて不陸調整を行ってください。
- ビニロックエラスティックフィラーⅢを砂骨ローラーで塗装する場合には、最初に配り塗りを行い、その後ならし塗りをし、塗り継ぎにむらが生じないようにしてください。
- 吸い込みの著しい部材については、標準塗付量より多くなる場合があります。シーラー塗装は「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装してください。
- シーラー塗装後、塗装仕様の塗り重ね可能時間よりも早く上塗り塗装を行うと、ちぢみ、ひび割れ、塗膜不良を起こすおそれがありますので、塗り重ね可能時間は守ってください。
- 下塗り乾燥後、素地との付着性をガムテープなどで確認し、はがれが認められる場合は再度下塗り塗装を実施してください。
- サビについては完全に除去後、削りカス（サビ、鉄くず）を完全に除去してください。サビの発生の原因となります。
- シーラー類や各種上塗り塗料には防錆性がありませんので、金属製の部分が錆びている場合、錆などを除去、ケレンし、適性のあるサビ止め塗料を下塗り後、上塗り塗装を実施してください。
- 溶接接合部や下塗りにキズがある場合は、その部分が塗膜不良となりやすいので、素地調整後、適性のあるサビ止め塗料で補修塗装を行ってから下塗り塗装してください。
- 塗装作業中および乾燥中は換気を十分行い、その後も塗膜が完全に乾くまでの間は、ときどき換気を行ってください。
- 塗色が濃色の場合、塗膜を強くこすると色落ちすることがありますので注意してください。
- 使用後のハケなどの用具や、手に付いた塗料はできるだけ早く水で洗い落してください。乾くと落ちにくくなります。
- 塗装後24時間以内に降雨、結露があった場合、白化やシミが残る場合があります。また、低温時や高湿度、通風が悪い場合も白化やシミになる場合があります。
- 改修塗装の場合、素地の種類や下地処理方法によって塗膜不良となる事があります。あらかじめ適切な処理を行い試し塗りすることをお奨めします。
- 改修塗装の場合、脆弱な旧塗膜、汚れ、チョーキングなどはディスクサンダー、皮スキ、ワイヤーブラシなどで除去し、高圧洗浄を行った後、24時間以上乾燥させてください。（気温23℃、湿度65%の場合）
- 下地、旧塗膜が脆弱な場合、また素材が強アルカリ性であることが予想できる場合は、弱溶剤型のシーラーを使用してください。
- 改修塗装で弱溶剤型のシーラーを使用した場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤の影響により、ふくれ、ちぢみなどが発生することがありますので、試し塗りをしたうえで本塗装を行ってください。
- 旧塗膜が弾性系の塗膜（弾性リシン、弾性スタッコ）やアクリル樹脂エナメルなどの場合、すでにふくれが発生していることがあります。そのまま塗装するとふくれが拡大することがありますので、ふくれ箇所は完全に除去してください。
- 旧塗膜は弾性型塗料でビニロックエラスティックフィラーⅢを使用して塗替えを行う場合、後の工程で吹付タイル（硬質タイル）は使用しないでください。クラックが生じる場合がありますので弾性系の塗材を使用してください。
- 仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって異なる場合があります。
- 塗り重ね可能時間（乾燥時間）は塗装現場の温度、湿度、風通し、素地の状態などにより、多少変わります。
- 各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合塗膜不良となる事があります。また、各工程において当社指定以外の材料を使用した場合は十分な性能が得られないことがあります。
- カタログに記載されていない素地及び塗装方法、工程で施工する場合、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用する前に最寄りの営業所へお問い合わせください。
- この塗料はホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆タイプです。F☆☆☆☆以外の材料（被塗物、素地を含む）を使用したり、各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合、F☆☆☆☆でなくなることがありますので注意してください。
- 上塗りに鮮やかなエロー系、レッド系、ブルー系、グリーン系の塗色で仕上げる場合、塗膜の隠ぺい性が弱い傾向にあるため、先に隠蔽性のよい共色（近似色）で下塗りした後、上塗り塗装してください。
- 低汚染性については被塗物の種類や建物の形状により、また、施工後特に塗膜が十分に乾燥する前、もしくは乾燥して初期の段階で天候不良であった場合、その効果が十分に発揮されない場合があります。
- 防藻・防カビ効果は繁殖を抑制するためで、既に発生している被塗面には、下地処理として除去および防藻・防カビ処理剤などで殺菌処理した後、塗装してください。
- このカタログに記載されている下塗り塗料などの詳細な使用方法については、それぞれのカタログをご参照ください。
- 取扱いの際は製品容器の注意書き、製品カタログおよび安全データシート（SDS）をよく読み、注意事項を厳守してください。

安全・衛生及び取扱い上の注意

【製品の危険・有害性】

危険性のほとんどない製品ですが、目や呼吸器に入らないようにしてください。

【救急処置】

- 目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけはやく医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけはやく医師の診察を受けてください。
- 気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。

【取扱注意事項】

- 塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
- 取扱い中は、できるだけ皮膚にふれないようにし、必要に応じて、保護手袋、保護めがね、保護マスクを着用してください。
- 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行い、作業衣等に付着した汚れをよく落としてください。
- よくふたをして直射日光を避け5℃以上40℃以下の安全でかつ子どもの手が届かない場所に保管してください。
- 容器は中身を使い切ってから破棄してください。
- 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。

【施工後の安全性について】

- 本製品群は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの際は、施主に対して安全性に十分に注意を払うようにご指導ください。
- 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ペンキ塗りたてであるなどの立看板等を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようにご配慮願います。

※詳細につきましては、製品個々の容器に記載のPL法関連事項と安全データシート（SDS）をご参照ください。

ロックペイント株式会社

東京営業部	〒136-0076	東京都江東区南砂2丁目37番2号	TEL(03)3640-6000	FAX (03)3640-9000
大阪営業部	〒555-0033	大阪市西淀川区姫島3丁目1番47号	TEL(06)6473-1650	FAX (06)6473-1000
札幌営業所	〒003-0011	札幌市白石区中央一条4丁目3番48号	TEL(011)812-2761	FAX (011)812-9304
仙台営業所	〒983-0044	仙台市宮城野区宮千代2丁目3番11号渡正ビル201号室	TEL(022)349-8677	FAX (022)283-3255
西関東営業所	〒252-0131	神奈川県相模原市緑区西橋本1丁目15番16号	TEL(042)700-3111	FAX (042)700-3112
名古屋営業所	〒454-0059	名古屋市中川区福川町1丁目1番地	TEL(052)351-6500	FAX (052)361-7433
岡山営業所	〒701-1134	岡山市北区三和1000番34	TEL(086)294-1201	FAX (086)294-6966
福岡営業所	〒811-0119	福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3丁目2番1号	TEL(092)962-0661	FAX (092)963-1241

https : // www. rockpaint. co. jp

●本カタログの内容については、予告なしに変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。
また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。

販売店：

2024.11.S〔081-K04〕